

富士河口湖町立 教育センターだより

No.12



平成28年9月2日文責 遠山 榮子

君だけのためのhero

イチロー・甲子園・リオ。熱い・暑い8月が終わり、はや9月。ブラジルではパラリンピックが始まり、学校では運動会、学園祭と大きな行事が予定されている。子ども達は、行事を通して、仲間と一緒に創り上げる楽しさ、難しさ、苦しさ、だけど、そこでしか味わうことのできない感動と充実感を得、それを心の糧に、大きく成長していく。友情と信頼を深め、希望と勇気をもって、また前に進む。

振り向かなくてもいい

今までの君のまま進めばいいから

あきらめないでeveryday

きみだけのためのhero

どんな日もそばにいるよ

NHK リオ五輪テーマソングより

実り多き2学期となるように、教育センターは、町や学校、各種機関と手を携えて、「よりよい学習環境作りの一助」に努力していきます。



pixta.jp - 19733851



「どんな日もそばにいるよ」教育相談室より

教育センターの教育相談室では、子ども達が毎日元気に過ごせるよう、学校・保護者・関係機関等と連携しながら、夏休み中も相談室を開設し、7月25日から8月19日までのべ39人が利用しました。

8月10日には、前中央公民館管理人の坂野さんに料理の手ほどきをお願いし、中学生・高校生・担任の先生・相談員など11名でハンバーグ作りと会食会を行いました。「やってみせ させてみせ ほめて 人は育つ」。子ども達は、友達や大人と協力し、作って楽しむ、味わって楽しむ、会話を楽しむ、和



む雰囲気を楽しむなど、様々な人・もの・こと・その関わりを「楽しむ」や、いろいろな人のつながりや支えを「感じる」ができたようです。

メニュー決め、材料の買い出し、自分のできる仕事を分担し、活動を進める過程では、周りとうまくやっていくことのよさを体感するなど、たくさんの温かい心の貯金ができただのではないのでしょうか。

学校という環境にはいないけれど、一人ひとり自分の目標を探し、今以上に自分を好きになろうとしている子どもたちです。教育相談室は、これからも子ども達の居場所作り、学校への復帰を目標として支援していきます。

